

# 日医ニュース

2024. 9. 5 No. 1510

**日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/



- トピックス**
- 役員紹介(常任理事) …… 2～3面
  - 「2025(令和7)年度予算要求要望」を武見厚労大臣に提出 …… 4面
  - 特別寄稿「難聴の早期発見のため耳鼻咽喉科受診勧奨にご協力を」 …… 7面

## 令和6年能登半島地震JMAT活動報告会(都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会)

# 今後の大規模災害に備え より強固なJMAT活動を目指して



令和6年能登半島地震JMAT活動報告会が8月9日、都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会を兼ねて日本医師会館小講堂とWEB会議のハイブリッド形式で開催され、今後の大規模災害に備え、今回の災害対応を検証して日本医師会災害医療チーム(以下、JMAT)の活動をより強固かつ効率的なものにすべく議論が行われた。

細川秀一常任理事の司会で開会。冒頭のあいさつで松本吉郎会長は、7月24、25の両日に能登半島を改めて訪問したことに加え、発災から7カ月以上経つが、まだまだ復興途上であることを実感したとし、引き続き日本医師会として可能な限りの支援を行っていくとの考えを示すとともに、今後の体制づくりのための活発な議論を求めた。

また、8月8日に宮崎県日向灘を震源とする地震が発生したことに伴い、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されたことを受けて、日本医師会では災害対策基本法上

の指定公共機関として、会内に地震警戒本部を設置したことなどを公表した(8月15日に本部を廃止し、所定の措置を終了)。次にあいさつした安田健二石川県医師会会長は、JMAT派遣等への支援に謝辞を述べた上で、現状の能登半島の人口、患者数、診療所の復旧状況等について報告。復旧・復興はまだ先になるとの見方を示し、「本日は忌憚らない意見を頂きたい」と述べた。

続いてあいさつした中田勝己厚生労働省医政局地域医療計画課長は、政府全体の会議において、能登半島地震における災害関連死が過去の災害と

比較して非常に少なかつたことに触れ、医療関係者の貢献に感謝の意を示した。厚労省としても研究班を立ち上げ、能登半島地震の教訓を今後の対応に生かすべく検討を進めていくとして、その支援を求めた。

引き続き、日本医師会からの報告として、細川常任理事が令和6年能登半島地震におけるJMAT派遣の流れや今回の活動の特色等を説明。次の災害に向けて、日本医師会、被災地医師会、

支援JMATを派遣する医師会、JMAT隊員のそれぞれのあり方や他の保健医療チーム、関係団体等との連携について建設的な議論を求めた。

佐原博之常任理事/石川県医師会理事は、JMATの活動拠点と活動範囲の推移など、被災地での活動内容を説明した上で、日本医師会、石川県医師会、被災地郡市医師会との縦の連携と、各地域の保健医療福祉調整本部を中心とした関係組織との横の連携が重要であるとの考えを強調。その一方、情報共有手段の乱立により混乱したことを問題視し、情報共有のあり方を検証し、災害時における有効なICTの活用を確立する必要があると指摘した。

その後は、三部構成で講演等が行われた。

### 第一部 能登半島地震対応と そこから得られた教訓

近藤久禎DMAT事務局次長/日本災害医学会理事は、被害を受けた医療・福祉の提供体制や施設を支え、被災者に可能な限り元通りの人生、生活を維持してもらうことを目的に活動を行ったと

今回の活動を振り返った上で、具体的な活動として、被災地の病院・施設避難の実施や「いつとき待機ステーション」の設置・運営等の内容を報

告。今後、高齢化率が高い地域における災害医療について問題提起するとともに、今回は指揮系統と福祉施設の情報システムの整備が最大の課題になったと指摘した。

齊藤典才石川県医師会理事/石川県JMAT調整本部長は、今回の石川県医師会JMATの活動を振り返り、今後の災害支援に向けて、他団体とのフェーズや活動内容の

### 第二部 これからの先遣JMAT、 統括JMATの機能

秋富慎司日医総研主任研究員/石川県医師会参与/日本医師会統括JMATは、JMAT活動では出口戦略を設定し、それを踏まえた調整をしていく体制が必要であると指摘。また、寄り添いながら被災者のニーズを把握することが重要であると

指摘。また、委員会として貢献していきたいとの考えを示した。

その後のディスカッションでは、今後の連携体制や情報共有のあり方、

### 第三部 専門的な機関等との連携

若井聡智日本災害医学会理事/DMAT事務局次長は、災害医療コーディネーションサポートチームの活動について、平成30年に日本医師会と日

本災害医学会との間で災害医療に関する相互協定を結んで以降、初めての派遣であり、JMATの枠組みで統括JMATのサポートを行ったことを報告。支援の継続性・一貫

性の観点で円滑な支援を行うことができたとして、

### 日本医師会の会員数が 過去最大の17万7,170名に

松本吉郎会長は8月7日、記者会見を行い、本年7月末時点での日本医師会の会員数が17万7,170名となったことを明らかとした。

この数字は、昨年12月1日時点に比べて約1,200名、昨年7月末日時点に比べて約2,900名の増加となっており、会員総数は過去最大となっている。

松本会長は今回の数字を踏まえて、引き続き組織強化を推進していく意向を改めて強調した。

— 就任に当たっての抱負と担当業務について —

① 趣味 ② 座右の銘 ③ 医師になったきっかけ ④ 会員の先生方へ一言

常任理事



きもり こくと  
**城守 国斗**

総務、医師の働き方、医療機関勤務環境評価センター、日医総研

- ① 食事店巡り（仕事抜き）、旅行・スキー（近年は両方とも全く行けてませんが）
- ② 虚心坦懐
- ③ 元々パイロットに憧れていたのですが、おじいちゃん子で、おじいちゃんに「家系で一人くらい医師になってもらいたいもんだ」と、高校の時に言われたのがきっかけでした。
- ④ 医療提供体制と医療保険制度は共に重要ですが、特に医療提供体制の検討には医療側からの提案が必要となります。そのためには各地域の現状把握が鍵となりますが、医療の提供にはさまざまな要因が関係するため、成り立ちは地域ごとに千差万別であり、その正確な把握には各地域医師会のご協力が必須です。今後行われる医療提供体制の検討（新たな地域医療構想等）に際し、国の机上の空論に振り回されることなく、「現状の長所を生かしつつ、弱点を修正する」という方針で臨みたいと思いますので、会員の先生方のご指導、何卒よろしくお願いいたします。

常任理事



ながしま きよまさ  
**長島 公之**

医療保険、情報、健康スポーツ

- ① 犬の散歩、猫とのたわむれ、移動中やホテルでの動画配信サービスの映画・ドラマ視聴と電子書籍の小説・マンガの読書
- ② タフでなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない（レイモンド・チャンドラー作 私立探偵「フィリップ・マーロウ」シリーズより）
- ③ 父が外科医で、有床診療所を開業していました。兄が、「血を見るのは嫌い」という理由で医学部へ行かなかったため、何となく、私が医学部に進むことになりました。
- ④ 私の担当である医療保険、医療DXの分野は、会員の先生方の毎日の診療を、現在そして将来にわたり、支える基盤となります。それだけに、影響の大きさや重要性をしっかりと認識して、日々、精進して参りますので、今後とも、ご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。

常任理事



えざわ かずひこ  
**江澤 和彦**

介護保険・福祉（認知症を含む）、精神保健（障害を含む）、医療関係職種

- ① スポーツ観戦
- ② 「尊厳の保障」をライフワークとしています。
- ③ 医師である父の背中を見ていたこともあり、小学校2年生時に医師になることを意識し、小学校6年生の卒業作文には、「不治の病を治し、患者さんを助けて貢献したい」と医師になることを明確に記していました。
- ④ 日本医師会の役員は、国民の生命と健康を守るべく、日々献身的に頑張っている医療現場に支障を来すことのないように、国としっかりと協議を行い施策に反映することが役割であります。医療機関の健全経営を確保し、外来・在宅・入院医療の機能分化と連携により、かかりつけ機能が遺憾なく発揮され、役割分担と連携により地域を「面」として支えていけるよう努めて参ります。多くの課題が山積みとなっている現況の難局を打破すべく、執行部一丸となり、覚悟をもって全力で取り組んで参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

常任理事



みやかわ まさあき  
**宮川 政昭**

税制、医療機関経営、薬事・医療機器、治験

- ① オペラとバレエ鑑賞ですが、もっと好きなのはジャズバーでラム酒を飲んでいることで、ジャズ仲間からは、Rhumjie（ラムジイ）と呼ばれています。映画は年に40作品（映画館では10作品程度）観ています。
- ② 「力耕不吾欺」。中国の詩人陶淵明の「移居」という詩の最後の部分です。自分が力を尽くし努力をすれば、必ず結果が出るというのは、1700年も前の時代の話なのかも知れませんが、熱心に耕しても実りは必ずしもないかも知れませんが、欺かない本質は、諦めずに続けた努力が新たな自分をつくることになると信じています。
- ③ 子どもの頃読んだ『シュバイツァー伝』です。
- ④ 担当は税制・医療機関経営・薬事等です。税制活動は財務省や総務省相手で、あまり目立たない、地味なものです。しかしながら、医師やその家族、そしてスタッフの皆さんの生活の基盤を支えるものです。厚生労働省と議員の方々の助けをお借りしながら、主戦場の霞が関や永田町で厳しい闘いを行っております。また、薬事は企業との闘いでもあります。企業理論に流されないよう、医療は国防であり、人間の安全保障と考え、地域医療を支えるために励んで参ります。ご指導のほど心よりお願いいたします。

常任理事



わたなべ こうじ  
**渡辺 弘司**

医事法制、学校保健、健・検診、乳幼児保健

- ① ジョギング、温泉巡り
- ② 八面玲瓏
- ③ 中学生までは建築士になろうと思っていましたが、高校の進学の際に親父が医師だったことや高校の教師からの勧めで、何となく医学部に進学したような気がします。
- ④ 実は、市の医師会にいた際は、県の医師会はなくても困らないと思っていました。県の医師会に行った際は、日本医師会はなくても県医師会における担務には影響ないんじゃないかと思っていました。日本医師会に来てみると、こんなに日本医師会は会員のことを考えて活動しているのだと知りました。自身の周りしか見えていなかったことをその都度知らされ、反省している次第です。ということで、私が日本医師会に来て大切だと思ったことは、「泰然自若」という言葉です。

常任理事



ほそかわ ひでかず  
**細川 秀一**

労災・自賠責、救急災害医療、精度管理、死因究明

- ① 化石・鉱石収集、グルメ、観光
- ② 継続は、力なり。経験は、人生の肥やしである。
- ③ 父親が医師であり自宅開業であったため、幼少時より父がする診療スタイル（深夜往診も含めて一切、断らないなど）を目の当たりにしてこの職業に憧れました。
- ④ 2期目の常任理事に選任、選定を頂き深く感謝申し上げます。能登半島地震におきましては、全国より延べ3,800チーム以上のJMATを派遣頂き救急災害医療担当理事として心より感謝申し上げます。同地震においては今まで類を見ない特殊な状況、状態に見舞われ、課題も多かったため、災害救護の形態をもう一度見直さなければなりません。今後日本医師会として統括機能をより強化し、被災地に対してプッシュ型支援も行っていきたいと考えております。全国の医療・保健・介護に携わっておられる皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

常任理事



いむら ひでひと  
**今村 英仁**

学術・生涯教育（医学会）、勤務医、病院、国際

- ① 小学生時代は音楽・体育が苦手でもそのまま大人になりましたが、現在では、「下手の横好き」で、冬になると雪を求め、鹿児島から新潟・長野（北海道）にスキーに訪れるのが趣味と言えるかも知れません。
- ② 人生航路は汗と感謝で！（祖父の教え）、一期一会
- ③ 業を背負うようにマインドコントロールされたのかも知れません。
- ④ 常任理事に就任して、世界に誇る国民皆保険制度が崩壊の瀬戸際に来ていることをひしひしと感じます。この制度は一度崩壊すると二度と修復することは不可能と考えます。この制度を堅持するために尽力いたしますので、どうか皆様の叱咤激励と厳しいご指導よろしくお願い申し上げます。

# 役員紹介 < 常任理事 >

① 趣味 ② 座右の銘 ③ 医師になったきっかけ ④ 会員の先生方へ一言

常任理事



くろせ いわお  
**黒瀬 巖**

医療政策、広報、共同利用施設、禁煙対策・がん対策

- ① ヨット、陶芸、旅行・城巡り
- ② 「学者は国家の奴隷なり」（“学者”を“医者”に読み替えて）
- ③ 福沢諭吉先生が北里柴三郎日本医師会初代会長へ送ったとされる「贈医」という七言絶句（右掲）を高校3年生の時に知り、医師という職業に憧れを持つようになりました。
- ④ 常任理事2期目は、「医療政策、広報、共同利用施設、禁煙対策・がん対策」を担当します。大学院・大学病院勤務時代から携わってきた研究・臨床実績や、20年に及び新宿区医師会、東京都医師会、日本医師会での役員経験に加え、自らの闘病体験も踏まえて、国民の生命と健康を守るための実効性ある医療政策・がん対策に努めて参ります。また、国民のより強い支持を得るために、広報戦略の革新を目指す覚悟です。これらの実現には会員各位との緊密な連携が不可欠と心得ておりますので、引き続きご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

無限輸贏天又人  
医師休道自然臣  
離婁明視麻姑手  
手段逢辺唯是真

常任理事



さかもと たいぞう  
**坂本 泰三**

地域医療、外国人医療、在宅医療、小児在宅ケア

- ① 薔薇栽培、ゴルフ、旅行
- ② 一期一会、継続は力なり
- ③ 小学校2年生の時に、頭部外傷にて3カ月の長期入院をし、その時の主治医の人間味のある対応を経験し、子どもながらに医師になりたいと思いつけたのがきっかけだと思います。
- ④ 地元の小野市・加東市医師会役員を20年、兵庫県医師会役員を10年務め、6月より2期目の日本医師会常任理事に就任いたしました。日本医師会、中央の行政等の仕事は、想像していたのとは全く違う景色でした。人口減少、高齢化に向かう2040年に向けて、地域の事情も含め医療と介護は、重要課題が山積みです。国民の健康を守り、医師会員の皆様が誇りを持って仕事ができるよう取り組んで参ります。また、将来の医師会員となる若き医学生・医師達のためにも、会員の皆様に、医師会活動・医師連盟活動に、ご支援よろしく願いいたします。

常任理事



はまぐち きんや  
**濱口 欣也**

生命倫理、医賠責、周産期、環境保健、医療廃棄物

- ① ゴルフ、ジムトレーニング、ラグビー、音楽活動
- ② プリンシプルを持つ、和而不同
- ③ 祖母が産婆かつ父が産婦人科医だったため、必然的に産婦人科医師を目指すこととなりました。
- ④ 松本キャビネットの「地方から中央へ」の柱を考えるに、本会と都道府県医師会や郡市区医師会の相互理解を深めることが極めて重要だと思います。我々常任理事が地域に向いて忌憚ない議論を重ね、目線を一気に一致団結・協働していくことこそが、真の組織強化であると考えます。先生方のご理解、ご指導、ご支援を頂きながら、情熱を持ってさまざまな課題に精進致します。何卒よろしく願い申し上げます。

常任理事



ささもと よういち  
**笹本 洋一**

感染症危機管理対策・予防接種、会員情報、図書館

- ① 映画鑑賞
- ② 誠意を尽くす
- ③ 根っからの道産子だった私は高校の入学時に東京に憧れ、医師になるなら大学は東京だ！ そう思い込んでいました。しかし、一人っ子の私は周囲からさまざまな説得を受け、結局札幌の医学部に進み、今に至っています。
- ④ 会員の諸先輩方から教えを頂き、同僚の会員から助けてもらい、後輩達の若いエネルギーに囲まれ、これまで医師としての仕事を続けることができました。仲間は人生の中で一番の宝です。ライバルだって仲間です。一人一人の力は小さくても、仲間が集まり助け合い、励まし合い、時にはけんかする。医師という共通の土台があるからこそ、お互いを理解し合えるのだと思います。人を助けること、人の思いに耳を傾けられること、人の人生に関われること、全てが今の自分の支えとなっています。謙虚さを忘れず、前に進みたいと思います。

常任理事



さいはら ひろゆき  
**佐原 博之**

年金、公衆衛生、先端医療、医師国保、電子認証センター

- ① 写真撮影
- ② 我以外皆我師
- ③ ブラックジャックに憧れて
- ④ 令和6年能登半島地震に際し、全国からJMATのご支援を頂き誠にありがとうございました。私は、日本医師会、石川県医師会、七尾市医師会のそれぞれの震災対策に深く関わり、改めて医師会の役割である「国民の生命と健康を守ること」と「医師の医療活動を支えること」の意義と重要性を強く感じました。今期から、年金、公衆衛生、先端医療、医師国保、電子認証センターの主担当と、情報、介護保険、災害救急医療、産業保健等の副担当を拝命しました。より強靱な医師会を目指して取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

常任理事



まつおか  
**松岡 かおり**

産業保健、有床診療所、男女共同参画、女性医師支援センター

- ① TVドラマ鑑賞。テニスはけがのためお休み中。学生時代はバスケット部・スキー部。温泉好き。
- ② 「心配するな、大丈夫、なんとかなる（伝一休宗純）」という言葉が好きです。
- ③ 父が病院を経営しており、小さな頃から医療を身近に感じていました。3人兄弟の末っ子で、女ということもあり、あまり期待をかけられなかったため、反面、医師の道に向かったように思います。
- ④ 今回、紅一点となりました。地元、千葉県医師会で役員を務めていた頃より、日本医師会役員や代議員に女性が少ないことに問題意識をもっていました。医師会は三層構造であり、地域医師会や委員会から女性が参画することが大切です。女性自身も医療政策への関心を持って、ぜひご参加頂ければと思います。松本会長のリーダーシップの下、早くその一翼となれるよう、精進して参ります。皆さまのご指導・ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

常任理事



ふじわら よしまさ  
**藤原 慶正**

財務、医療安全、国民生活安全対策、会員福祉

- ① 本を読むこと、芸術に触れること、繋ぐこと
- ② 信孚於上下、天下無甚難處事  
「座右の銘」というほどのものではありませんが、そのとおりだと思っています。
- ③ 祖父も父も医師で、地域医療を文字どおり必死に守り、そして最期まで医師会の活動に命がけで取り組んでいたように思えたので、あまり考えずに自分もそうするものと思っておりました。お恥ずかしい限りです。
- ④ 今の秋田の課題は、早晚、他の地方でも地域医療の大きな課題として顕在化します。祖父は50年前、父は30年前でしたが、いずれの時代にも守るべきこと、変えていくべきことがあったのだと思いますし、二人とも、医師会には、国民の生命と健康を守るために医療のあるべき姿を求め、それを実現していく力があると信じていたのだと思います。私もそう思います。今と将来の医師が、誇りと希望をもって診療を続けられるよう、微力ながら努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 南から北から

広島県  
安芸地区医師会月報  
NO.602より

朝市通り

豊田 紳敬



メディアの映像は容赦ない。正月早々のテレビ画面には、一面焦土と化した街並みが一日中映し出されていた。2024年1月1日の能登半島地震で、震度6強の揺れを観測した石川県輪島市の「朝市通り」では大規模な火災が起き、店舗や住宅など200棟以上が焼け、およそ4万8000平方メートルが焼き尽くされた。輪島市ではその他でも広い範囲で建物が倒壊するなどし、80人以上の方が犠牲となった。心からお悔やみ申し上げる。

私が輪島市を訪れたのは1976年の夏であった。当時は免許を取って間もなく、ご多分に漏れず運転したい盛りで、高校の同級生と二人で当てもない自動車旅行に出ることになった。ルールは一つ、持ち金の残金が半分になれば引き返す。ハネムーンさながらに他の同級生達からの見送りを受け、2号線を東進し倉敷・岡山を経て山陰へ向かい、鳥取砂丘からはひたすら海岸線を走った。経費節約のため、エア

コンは入れない、車中泊が基本で、風呂に入りたいた時だけ安ホテルに泊まる、食事は地元のスーパーで総菜を購入する。このような破天荒な旅なので、皆さんのご想像どおり道中さまざまなハプニングがあったが、今回は割愛させて頂く。

旅のルールによって、輪島市が最終目的地となった。車から起き出し、公園の水道で形だけの身だしなみを整え、うわさの朝市に出掛けることにした。一通りプラプラと歩き、最も安そうな魚の干物を見つけた。そのままでは食べられそうになかったが、懐事情から選択肢はほぼ無いに等しい。露店の老婆に掛け合っ

りごみそ汁を置き、どこから来たのかとお決まりの質問を投げ掛けてきた。「広島から」と答えると、自分は輪島から出たことがないので分からないが随分遠くから来てくれたと労ってくれた。そして、食事に手を付けるよう促しながら、先ほど私の手から取り上げた干物を炙り始めた。既に空腹に耐えかねていた私達は、早速おにぎりと魚の出汁のよく効いたみそ汁を頂いた。染みる。間もなく程良く炙られた干物が2枚に増えて、更にサザエまで添えられて目の前に現れた。驚いて老婆の顔を見ると「なん、よむねも」とニコニコしている。ありがたく完食したが、このま

ま立ち去るわけにはいかない。急ぐ旅ではないので、朝ごはんのお礼とばかりに客の呼び込みを手伝った。「こうつくだぁ」と、老婆に習った輪島弁で道行く観光客に声をかけた。

お手伝いの甲斐もあった。周囲の露店より早く店仕舞いすることになった。期せずして最終到達地となった輪島は、破天荒な旅の中でも殊更思い出深い街となった。

「朝市通り」は、新鮮な魚介類や地元の特産品が並び、観光客や地元の人々にぎわい、地元の人の温かい雰囲気や親しみやすさを感じながら、地元の食材や文化に触れることができる場所であった。そこにぎわいが一日でも早く戻ってくることを願ってやまない。

(一部省略)

たとえウソつきと誘われようとも

安斎 千鶴



1. たとえウソつきと誘われようとも

25年以上前のある日のことでした。高校生のアツシ君が、学校の階段で足を滑らせて転んで、右目をぶつけたと言っていて、母親に付き添われて来院しました。奇妙なことに、階段で転んだというのに、右目以外に、どこも

ぶつけていないと言います。転び方にもよりますが、大抵は転ぶ時に先に手が出て、手をつくのことでケガをすることが多いと思われま

す。階段で転んで、目以外に体のどこも何ともないというのは、極めて稀と思われる。アツシ君の右目は、かなり強い打撲傷で、そ

の後何度も通院が必要となりました。

次にアツシ君が祖母に付き添われて来院した時には、なぜか学校でバスケットボールをやっていた、右目にボールが当たったと言っていた。あれ、初診の時は、確か学校の階段で転んで右目をぶつけたと言ったはずだと思いましたが、そのままたおきました。

摩訶不思議なことに、その次にアツシ君が祖父に付き添われて受診した際には、こちらが聞いてもいないのに、アツシ君自ら、右目は学校でサッカーをしていてボールが当たってケガをしたと言ったのでした。なぜ、アツシ君は、自分のケガの原因を、次から次へと、二転三転させなければならぬのでしょうか。私は甚だ理解に苦しみました。アツシ君に問いたですことはしませんでした。それから数年の時が流れ、高校を卒業したアツシ君は、眼鏡希望で眼科を受診しました。アツシ君は、あの時の事を、小さな声でボソボソとことう言ったのです。「先生、本当はオレ、友達とケンカして友達に右目を殴られたんです。ケンカして目をケガさせたってなら、友達が高校を停学になると思ったんでウソついてました。ケンカし

たのはオレも悪いから……」。アツシ君は、目を殴られて激しい痛みをこらえながら、必死で友達を守ることを考えていたのでした。

私の想像ですが、アツシ君が階段で足を滑らせて転んで右目をぶつけたと話したら、周りの人から右目だけぶつけて、他のどこもケガしてないなんておかしいんじゃないと指摘されたのかも知れません。それで、バスケットボールやサッカーボールがぶつかったことを第一に考えて、アツシ君は、友達を守ることを重んじたのでした。私は、アツシ君の友達を思う優しさに心打たれて、しばし言葉も出ませませんでした。

2. 私はエスパー

25年以上前のある日のことでした。いつも冷静沈着な眼科のスタッフのOさんが慌てた様子で、「先生、トオル君が来るんですけど、トオル君じゃないんです」と言ってきました。

Oさんの話を聞いてみると、1週間ぐらい前に、ハードコンタクトレンズを作った高校生のトオル君のカルテが出ていて、トオル君の名前を呼んだところ、トオル君ではない別人が返事をするのだそうです。Oさんは、トオル君のことはよく覚えていたので、返事をし

た別人に、「トオル君じゃないよね？」と尋ねたところ、「いいえ、トオルです」と言い張るのだそうです。もう一度、Oさんに「トオル君」の名前を大きな声で呼んでもらって、診察室に入ってもらいました。眼科のスタッフの誰が見てもトオル君ではない別人が中に入ってきました。

トオル君だと言っている別人によく話を聞いてみると、もちろんトオル君ではなく、トオル君の弟だと言います。トオル君の弟も高校生で、兄のトオル君がいない時に、トオル君のハードコンタクトレンズがもの珍しくて、いじくりこんで、触っていたのだそうです。そうしたら、片方のレンズをばいじりてしまい、あっという間にどこかに飛んでいって見つからないとのことでした。トオル君に知られたら怒られるので、知られないうちにトオル君の名前で受け付けて、もう一度同じコンタクトを作ってもらおうと思っ

ていました。

私は、昨日トオル君の弟が来院したことを話して、弟さんを怒らないでね、とトオル君に頼みました。すると、トオル君は、「先生、オレは、そんなことで怒ったりすねえから、だいじょうぶです」と言ってくれました。

トオル君は、その後、コンタクト無くしたんでねっス」と言っ

て来た。トオル君は、某国立大学に進学してからも、帰省する度、「先生、オレ、コンタクト無くしてねっス、目診てもらっス」と言って元気な顔を見せてくれました。(一部省略)

院したと言ったのでした。私は、トオル君の弟に、コンタクトは注文しておくので、レンズを無くしたことを正直にトオル君に話して、明日の午後、トオル君本人が取りに行くように伝えてねっス、と言いました。トオル君の弟は、「はい、分かりました。そうします」と言って帰

院したと言ったのでした。私は、トオル君の弟に、コンタクトは注文しておくので、レンズを無くしたことを正直にトオル君に話して、明日の午後、トオル君本人が取りに行くように伝えてねっス、と言いました。トオル君の弟は、「はい、分かりました。そうします」と言って帰

# 府県医師会会長紹介

今号では、今年改選期を迎えた1府37県の医師会長の略歴を紹介する。

## 高木会長3期目へ

（青森県医）



6月8日  
日の定例  
で高木伸  
也（たかぎしんや）現会長  
を選定した。

## 本間会長2期目へ

（岩手県医）



6月1日  
日の定例  
で本間博  
（ほんまひろし）現会長を  
選定した。

## 佐藤会長4期目へ

（宮城県医）



5月22日  
日の臨時  
で佐藤和  
宏（さとうかずひろ）現会  
長を選定した。

佐藤会長は昭和27年宮城  
県の出身。昭和53年東北大  
を卒業。県医常任理事・副  
会長の出身。昭和27年宮城  
県の出身。昭和53年東北大  
を卒業。県医常任理事・副

## 小泉会長2期目へ

（秋田県医）



6月15日  
日の定例  
で小泉ひ  
ろみ（こいずみひろみ）現  
会長を選定した。

## 間中氏を選定

（山形県医）



5月25日  
日の定例  
で間中英  
夫（まなかひでお）氏を選  
定した。

## 石塚氏を選定

（福島県医）



6月9日  
日の定例  
で石塚尋  
朗（いしづかじゅんろう）氏  
を選定した。

石塚新会長は昭和26年福  
島県の出身。昭和53年東北  
大を卒業。県医理事・常任  
理事を経て、令和6年現職  
に就任。72歳。

## 松崎氏を選定

（茨城県医）



6月15日  
日の定例  
で松崎信  
夫（まつざきのぶお）氏を  
選定した。

## 小沼氏を選定

（栃木県医）



6月15日  
日の定時  
で小沼一  
郎（こぬまいちろう）氏を  
選定した。

## 須藤会長5期目へ

（群馬県医）

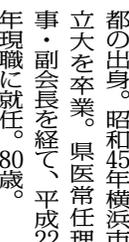


6月27日  
日の定時  
で須藤英  
仁（すどうえいじん）現会  
長を選定した。

須藤会長は昭和27年群馬  
県の出身。昭和53年順天  
堂大を卒業。県医常任理  
事・副会長を経て、令和6  
年現職に就任。71歳。

## 金井会長3期目へ

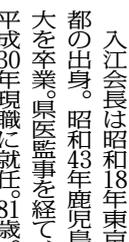
（埼玉県医）



6月13日  
日の定例  
で金井忠  
男（かないただお）現会長  
を選定した。

## 入江会長4期目へ

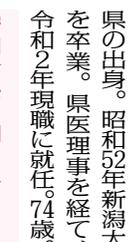
（千葉県医）



6月9日  
日の定時  
で入江康  
文（いりえやすぶみ）現会  
長を選定した。

## 堂前会長3期目へ

（新潟県医）



6月8日  
日の定例  
で堂前洋  
一郎（どうまえよういちろ  
う）現会長を選定した。

堂前会長は昭和25年静岡  
県の出身。昭和52年新潟大  
を卒業。県医理事を経て、  
令和2年現職に就任。74歳。

## 安田会長4期目へ

（石川県医）



6月16日  
日の定例  
で安田健二（やすだけんじ  
）現会長を選定した。

## 伊在井会長2期目へ

（岐阜県医）



6月9日  
日の定時  
で伊在井  
みどり（いさいみどり）現  
会長を選定した。

## 加陽氏を選定

（静岡県医）



5月25日  
日の臨時  
で加陽直  
実（かようなおみ）氏を選  
定した。

加陽新会長は昭和30年山  
口県の出身。昭和55年浜松  
医大を卒業。県医理事・副  
会長を経て、令和6年現職  
に就任。69歳。

## 鈴木会長2期目へ

（山梨県医）



6月6日  
日の定時  
で鈴木昌  
則（すずきまさのり）現会  
長を選定した。

## 馬岡氏を選定

（三重県医）



6月8日  
日の定例  
で馬岡晋  
（うまおかしん）氏を選定  
した。

## 高橋氏を選定

（滋賀県医）

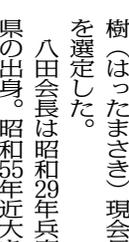


6月20日  
日の定例  
で高橋健  
太郎（たかはしけんたろう）  
氏を選定した。

高橋新会長は昭和27年大  
分県の出身。昭和53年鳥取  
大を卒業。県医理事・副会  
長を経て、令和6年現職に  
就任。72歳。

## 八田会長2期目へ

（兵庫県医）



4月21日  
日の臨時  
で八田昌  
樹（はったまさき）現会長  
を選定した。

## 清水氏を選定

（鳥取県医）



6月15日  
日の定例  
で清水正  
人（しみずまさひと）氏を選  
定した。

## 森本会長5期目へ

（島根県医）



6月16日  
日の定時  
で森本紀  
彦（もりもとのひこ）現  
会長を選定した。

森本会長は昭和21年島根  
県の出身。昭和47年京大を  
卒業。県医理事・常任理事  
を経て、平成29年現職に就  
任。78歳。

## 松山会長4期目へ

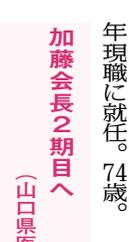
（岡山県医）



4月28日  
日の臨時  
で松山正  
春（まつやまさはる）現  
会長を選定した。

## 加藤会長2期目へ

（山口県医）



6月13日  
日の定例  
で加藤智  
栄（かとうともこ）現会長  
を選定した。

## 齋藤会長5期目へ

（徳島県医）



5月30日  
日の定例  
で齋藤  
（さいとう）氏を選定した。

齋藤新会長は昭和30年石川  
県の出身。昭和57年山口大  
を卒業。県医理事・常任理  
事・専務理事・副会長を経  
て、令和4年現職に就任。  
69歳。

県の出身。昭和51年東京医  
大を卒業。県医理事・副会  
長を経て、平成28年現職に  
就任。72歳。

安田会  
長は昭和  
32年石川  
県の出  
身。昭和60年富山医科薬科  
大を卒業。金沢市医師会  
長・会長を経て、平成30年  
現職に就任。67歳。

柵木会  
長は昭和  
60年山梨  
県の出  
身。昭和48年名古屋大  
を卒業。県医副会長を経  
て、平成24年現職に就任。  
75歳。

中尾新  
会長は昭  
和27年愛  
知県の出  
身。昭和54年神戸  
大を卒業。府医理事・副会  
長を経て、令和6年現職に  
就任。71歳。

松山会  
長は昭和  
19年京都  
府の出身。昭和44年岡山  
大を卒業。県医理事・副会  
長を経て、平成30年現職に  
就任。80歳。

藤義郎(さいとうよしろう) 現会長を選定した。齋藤会長は昭和20年徳島県出身。昭和45年徳島大を卒業。県医理事・常任理事を経て、平成28年現職に就任。79歳。

**久米川会長6期目へ**  
(香川県医)

5月23日 日の臨時  
代議員会  
で久米川  
啓(くめがわはじめ) 現  
長を選定した。

久米川会長は昭和29年香川県の出身。昭和53年東京医大を卒業。県医理事・副会長を経て、平成26年現職に就任。70歳。

**村上会長4期目へ**  
(愛媛県医)

6月15日 日の定時  
代議員会  
で村上博  
(むらかみひろし) 現会長  
を選定した。

村上会長は昭和32年福岡県の出身。昭和57年順天堂大を卒業。県医理事・代議員会副議長を経て、平成30年現職に就任。67歳。

**野並会長2期目へ**  
(高知県医)

6月15日 日の定例  
代議員会  
で野並誠  
(ののなみせいじ) 現会長  
を選定した。

野並会長は昭和30年高知県出身。昭和59年帝京大を卒業。県医常任理事・副会長を経て、令和4年現職に就任。69歳。

**蓮澤会長3期目へ**  
(福岡県医)

6月20日 日の定例  
代議員会  
で蓮澤浩  
明(はすざわひろあき) 現  
会長を選定した。

蓮澤会長は昭和22年福岡県の出身。昭和48年久留米大を卒業。県医副会長を経て、令和4年現職に就任。76歳。

**志田氏を選定**  
(佐賀県医)

5月30日 日の定例  
代議員会  
で志田正  
典(したまさのり) 氏を選  
定した。

志田新会長は昭和31年佐賀県の出身。昭和55年久留米大を卒業。県医常任理事・専務理事・副会長を経て、令和6年現職に就任。68歳。

**森崎会長4期目へ**  
(長崎県医)

5月19日 日の臨時  
代議員会  
で森崎正  
幸(もりさきまさゆき) 現  
会長を選定した。

森崎会長は昭和23年長崎県の出身。昭和51年長崎大を卒業。県医常任理事・副会長を経て、平成30年現職に就任。75歳。

**福田会長8期目へ**  
(熊本県医)

6月15日 日の定例  
代議員会  
で福田桐  
日(のりひこ) 現会長  
を選定した。

福田会長は昭和21年熊本県の出身。昭和48年久留米大を卒業。県医代議員会議長を経て、平成22年現職に就任。78歳。

**河野会長2期目へ**  
(大分県医)

5月19日 日の臨時  
代議員会  
で河野幸  
治(こうのこうじ) 現会長  
を選定した。

河野会長は昭和28年大分県の出身。昭和53年川崎医大を卒業。県医副会長を経て、令和4年現職に就任。70歳。

**河野会長6期目へ**  
(宮崎県医)

5月21日 日の臨時  
代議員会  
で河野  
雅行(かのりまさゆき) 現  
会長を選定した。

河野会長は昭和20年宮崎県の出身。昭和45年鹿児島大を卒業。県医常任理事・副会長を経て、令和6年現職に就任。58歳。

**田名氏を選定**  
(沖縄県医)

5月16日 日の臨時  
代議員会  
で田名毅  
(たなたけし) 氏を選定し  
た。

田名新会長は昭和40年沖縄県の出身。平成10年九大大学院を修了。県医常任理事・副会長を経て、令和6年現職に就任。69歳。

**田名氏を選定**  
(鹿児島県医)

5月18日 日の臨時  
代議員会  
で田名毅  
郎(まさゆみかんろう) 氏  
を選定した。

田名新会長は昭和30年鹿児島県の出身。昭和55年聖マリア大を卒業。県医常任理事・副会長を経て、令和6年現職に就任。58歳。

**難聴の早期発見のため 耳鼻咽喉科受診勧奨にご協力を**

大森孝一 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 理事長/京都大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授  
和佐野浩一郎 東海大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

**マッチ60歳、聴力検査 デビューします!**

「聞こえにくさ」を放っておくと、認知症やうつ病、社会的孤立、就業機会の喪失につながるから。 「聞きかえし」「聞き間違い」が多くなったら、耳鼻科での聴力検査を。 「マッチ60歳、聴力検査 デビューします!」という近藤真彦さんが出演するCMや広告をご覧になって頂けましたでしょうか。

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会は令和6年7月から難聴に関する啓発キャンペーンをACジヤパ

「不便を感じるものの、大きな声で話してもらったり、テレビの音量を上げたりすれば良いのではないかと印象をおもちの方も少なくないと思えますので、なぜこのような大規模な難聴啓発キャンペーンを学会が始めたのか解説させて頂きます。

加齢に伴って進行する難聴、すなわち加齢性難聴はコミュニケーションの低下にとどまらず、適切な介入を行わないことが、認知症・うつ病といった疾患リスクの増加、社会的孤立や就業機会の喪失といった社会課題に関連することが示されています。特に2017年にLivingstonらがまとめたAgeist誌の委員会報告では、認知症を予防できる可能性が最も大きい因子が「中年期以降の難聴」の予防・介入であることが示され、2020年、2024年に最新データに更新されてもその結果は維持されています。

世界保健機関(WHO)は2017年の第70回世界保健総会(World Health Assembly: WHA)において、「難聴および聴覚障害の予防(HA70.13)」を採択、2021年3月3日には「World report on hearing」という難聴に関する予防と適切な介入に関する報告書を公開しました。

予防に関しては、ヘッドホン・イヤホンによる強大音暴露回避のキャンペーンが開始され、介入に関しては加齢性難聴に対する補聴器装用によって認知症発症リスクが低下することが、大規模なデータベースを用いた観察研究や無作為化介入試験により示されました。予防や介入を行うためには聴覚機能を評価しながら適切な管理を実施する必要がありますが、日本国内においては聴力に関する健・検診は学校保健安全法施行規則に基づく学校健診と労働安全衛生規則に基づく労働者健診のみであり、非就業者や退職後の特定健康診査・後期高齢者健康診査において聴力に関する項目は問診を含めて一切含まれていません。

国際的に質問内容が統一された大規模調査(GlobalTrack and Burden)によれば、難聴の自覚率

は欧州を始めとした諸外国と日本は同等(約10%)である一方で、難聴を自覚した際の医師への相談率は諸外国(50~80%)と比較して、日本(38%)は低いことが示されました。その結果として、難聴自覚者における補聴器装用率が諸外国(40~50%)と比較して、日本(15%)は非常に低いことも示されています。

そこで日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では、健・検診に聴覚に関する項目(問診及び検査)を加えるための働き掛けを行うとともに、一般市民の方に対しても聴覚に関する意識をもって頂けるよう、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では、「中等以上の難聴」並びに「軽度難聴であっても聞こえづらさを感じている」患者さんに対して補聴器装用を提案することをまとめた診療マニュアルを発行し、会員に周知しました。

他診療科の先生方におかれましては、日々の診療の中で診察する患者さんで、高度な難聴ではなくても本人が聞こえづらさを感じていたり、周囲の方とのコミュニケーションに困難を認めたりした場合は、耳鼻咽喉科受診と聴力検査をお勧め頂けると幸いです。よろしくお願いたします。

**第8回 生命を見つめる フォト&エッセー**

医療従事者も応募可能

応募締切 **2024年10月2日** ※必着

日本医師会では、第8回生命を見つめるフォト&エッセーの作品募集を行っています(賞金は最大30万円)。

医療従事者も応募可能となっておりますので、ぜひ、ご応募願います(応募要領などの詳細は公式ホームページをご参照下さい)。

**フォト部門** : 生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間を捉えた作品(人、動物、自然など被写体は自由)

**エッセー部門** : 患者さんとの交流や医師になろうとしたきっかけなどのエピソード、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などをつづった作品

※本コンテストは、フォト、エッセー部門共に、小中高生も応募可能となっておりますので、お子さんやお孫さん等にもお勧め頂ければ幸いです。

日本医師会広報課

# 案内



## 日医かかりつけ医機能研修制度 令和6年度応用研修会第2回 (Web講習会)

◆主催：日本医師会  
 ◆日時：10月6日(日)  
 午前10時～午後5時20分  
 ◆受講形式：「日本医師会Web研修システム(以下、Webシステム)」によるライブ配信

◆受講対象者：「日医かかりつけ医機能研修制度」の修了申請を希望する医師及びかかりつけ医となる全ての医師(診療科や主たる診療の場は問いません)。  
 ◆受講料：医師会員(郡)

テーション病院栄養管理室長、渡邊裕北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学分野高齢者歯科学教室准教授)  
 ・「かかりつけ医の脂質異常症管理」(吉田博東京慈恵会医科大学附属柏病院長・教授)  
 ・「リハビリテーションにおける医療と介護の連携」(三上幸夫広島大学病院リハビリテーション科教授)

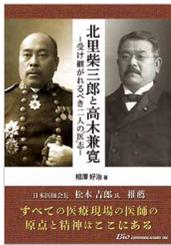
◆主なプログラム：  
 ・「かかりつけ医の糖尿病管理」(鈴木亮東京医科大学糖尿病科・代謝・内分泌内科学分野主任教授)  
 ・「栄養や口腔におけるかかりつけ医との連携」(西岡心大長崎リハビリ

◆受講方法：受講方法の  
 ・「かかりつけ医の高血圧症管理」(大屋祐輔琉球大学病院長)  
 ◆受講料：医師会員(郡)

## 書籍紹介



北里柴三郎と高木兼寛―受け継がれるべき二人の「医志」―  
 相澤好治 著



本書は日本医師会産業保健委員会委員長を長く務めている相澤好治先生(北里大学名誉教授)が、日本医師会の前身である大日本医師会初代会長の高木兼寛先生と、日本医

師会初代会長の北里柴三郎先生の生涯を描いたものである。  
 その中では、当時、国民病と言われた脚気病を克服した高木先生の業績と、破傷風菌の純粹培養と免疫血清療法を確立した北里先生の業績をそれぞれ振り返るとともに、二人が実験的衛生学と疫学という衛生学の流れを確立した経緯が詳説されている。

本書の最大の特徴である第七章の「日本医師会の設立」では、高木先生と北里先生がどのように医師の組織化を図ったのかを、歴史的背景と共に解説している。  
 また、著者が産業保健を専門としていることから、武見太郎第十一代日本医師会長と産業医制度の創設の経緯についても言及されるなど、他書では類を見ない内容となっている。

◆定員：320名  
 ◆申込要件：  
 ①日本の医籍登録をして  
 いる者(申込時に医籍登録番号が必要となります)  
 ②全日程参加できる者  
 ◆申込受付期間：10月3日(木)～10日(木)

◆申込方法：個別のお申し込みになります。受講申込期間に、Webシステムのサイト(https://seminar.med.or.jp)からご希望の研修会を検索して、「講習会詳細」へ進み、スケジュール及び受講方法等の詳細をご確認の上、お申し込み下さい。

◆申込開始日：午後2時から  
 ◆申込受付期間：10月3日(木)～10日(木)  
 ◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

## 日本医師会認定産業医制度基礎研修会 産業医科大学産業医学基礎研修会 東京集中講座

◆主催：産業医科大学、日本医師会  
 ◆共催：産業医学振興財団  
 ◆目的：産業医としての被選任資格を取得するための研修会  
 ◆開催期間：令和7年2月17日(月)～22日(土)までの6日間  
 ◆会場：つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2-20-3 ☎029-861-0001)  
 ◆定員：320名  
 ◆申込要件：  
 ①日本の医籍登録をして  
 いる者(申込時に医籍登録番号が必要となります)  
 ②全日程参加できる者  
 ◆申込受付期間：10月3日(木)～10日(木)

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める

## 全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

◆申し込み：受付は640名に達するまで先着順で行い、その中から産業医活動を1年以内に始める



友だち追加はこちら

友だち追加はこちら

友だち追加はこちら